学校番号	203

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	５単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説世界史」（山川出版社）						
副教材等	「アカデミア世界史」（浜島書店） 「新世界史要点ノート（応用編）」（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史は単に人名や事件名を暗記するだけの科目だと思っている人が多くいます。しかし「なぜそれらが重要な知識であり、覚える必要があるのか」を理解しなければ、それは覚えても全く「意味のない知識」となってしまいます。過去に起こった様々な出来事が「なぜ起こったのか」、「なぜ重要なのか」という「なぜ」を常に考えて歴史から学び、これからの世界を担っていくための生きた「知恵」とすることが肝要なのです。そのためにはただ受動的に授業を聞くだけでなく、常に「なぜ」という視点を持ち、周囲の生徒との対話なども含めてその問いを考える習慣をつけて下さい。

2　学習の到達目標

・色々な歴史的史料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・現代社会の課題を歴史的観点から考察し、未来へつなぐ。
・世界の歴史を地理・日本史と関連付けながら理解する。
・歴史の流れを理解し、広い視野に立って物事を把握できる力を持つ。
・グローバル社会に生きる現代の世界市民として、自覚と責務を果たすように努力する。。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史に対する興味・関心を高め、意欲的に追究するとともに、グローバル時代んにおける立ち位置を見定める。	現代世界の諸課題を歴史的視点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史に関する史料を収集し、情報を選択して読み取ったりまとめたりしている。	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的視点や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。

評価方法	ワークノート レポート プリント	定期考査 ワークノート 研究発表	定期考査 ワークノート 課題研究	定期考査
	［主題学習］ 図説・史料	［主題学習］ レポート	［主題学習］ 地図・史料・レポート	［主題学習］ 内容のまとめ
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期前半	原始・古代	・先史の世界 ・オリエントと地中海世界 ・アジア、アメリカの古代文明 ・内陸アジア世界、東アジア世界の形成	○ ○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:自然環境と歴史、世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、歴史と地理への関心を高めようとしている。 b:原始古代の世界について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:原始古代の世界について、事例の考察に必要な地図・史料を収集、取捨選択し、読み取ったりまとめたりしている。 d:原始古代の世界について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。 また、世界の流れを大まかに把握し、次の時代につなげる。 地理、日本史との連携も考える。	定期考査 レポート ワークノート

一学期後半	古代・中世	・イスラーム世界の形成と発展 ・ヨーロッパ世界の形成と発展 ・東アジア世界の展開	○ ○ ○	○	○ ○	○ ○ ○	a: 自然環境と歴史、世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、歴史と地理への関心を高めようとしている。 b: 古代中世の世界について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 古代中世の世界について、事例の考察に必要な地図や史料を収集し、有用な情報を選択して、まとめたりする。 d:古代中世の世界について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。 古代中世を個々ではなく、一つの世界として広く世界を把握する。	定期考査 レポート ワークノート
二学期前半	近世	・アジア諸地域の繁栄 ・近世ヨーロッパ世界の形成 ・近世ヨーロッパ世界の展開	○ ○ ○		○ ○	○ ○ ○	a: 自然環境と歴史、世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、歴史と地理への関心を高めようとしている。 b: 近世の世界について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 近世の世界について、色々な地図や史料を収集し、読み取ったりまとめたりしている。 d:近世の世界について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。 世界が一体化する時代、世界をつなぎ、広い視野で時代をとらえる。	定期考査 レポート ワークノート

二学期後半	近代・	・近代ヨーロッパ、アメリカ世界の成立 ・欧米における近代国民国家の発展	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a: 自然環境と歴史、世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、歴史と地理への関心を高めようとしている。 b: 近代の世界について、多面的・多角的に考察し、その原因・経過・結果を適切に表現している。 c:近代の世界について、事例の考察に必要な史料を収集し、取捨選択して、まとめたりしている。 d: 近代の世界について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。 帝国主義に至る欧米の発展について、グローバルな視点からその流れをつかみ、世界大戦へとつなぐ。	定期考査 ワークノート
三学期	近代・現代	・二つの世界大戦と現代社会	○	○	○	○	a: 自然環境と歴史、世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、歴史と地理への関心を高めようとしている。 b:近現代を振り返り、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 世界史全体をを振り返り、日本史や地理と連携して、考察に必要な史料を集め、読み取っている。 d:世界史全体を、「現代社会」「政経」と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。	ワークノート レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。